

ワークショップ **「 サバイバルシップ・プロジェクト 」** 個人用

ねらい。

このワークショップのねらいは、「持続可能な社会」とはどんな世の中なのかを考えるきっかけをすることです。「これが正解だ」というものはなく、いろんなアイデアがあるはずですよ。

「持続可能な社会」というのは、何となく分かったような、分かんないような世の中だと思いますが、具体的に考えてみると、なかなか難しいこともあるかもしれません。自分が今分かっている知識を総動員して、理想的な環境を考えてみてください。

仮定・前提・想定

西暦20XX年、突如出現した巨大な彗星が地球に衝突することが判明した。その当時の人類の英知を持ってしても、衝突を避けることができないことが分かり、人類は地球を脱出することになった。彗星衝突から少なくとも1000年間は、地球に戻ることはできないという。そこで、あまり地球から離れないで太陽を回る周回軌道に乗り、その1000年を過ごす計画を立てた。・・・とここまででは想定の話なので、ここまでの想定についてのいろんなご意見は、またの機会に・・・・・・・・

そこで、君たちが巨大な宇宙船に乗って、この宇宙旅行に出発するとします。宇宙船はとても巨大で、その能力は非常に優秀だとします。そして、君たちが生活するのに必要なものをほとんど装備していくことができるとします。といって、あまり無駄なものを積んでいても仕方ありませんので、必要最低限のものにしてください。乗客は、とりあえず500人とします。どんな設備・装備が必要になるでしょうか。

当然、途中で食料を始め、燃料などの補給はありません。出発したときの条件で、そのまま1000年以上その宇宙船の中だけで過ごすことになります。

なお、巨大な宇宙船を回転させることにより、地球上と同じ重力の元で暮らせるし、地球とあまり離れないので、地球と同じ太陽の光を受けることはできます。また、宇宙船推進のための燃料は心配しなくても結構です。

作業

1) 生活に必要な物資はいろいろあるでしょうがそのうち、空気と水、食料、生活のためのエネルギー（これは宇宙船の推進エネルギーとは別）、ゴミ などなど について、徹底的に物質を循環させて生活を維持する仕組みが必要です。暮らしや環境を維持するためのしくみは、どんなようにしたらよろしいでしょうか。

2) 宇宙船での日常生活の様子はどんな様子になりますか？ 特に食料とゴミ処理について、どんな食料をどうやって手に入れているか、ゴミはどうやって処理しているかについて考えてみてください。

これらについて考えて、このプリント右側に他の人にもわかりやすく、スケッチなどでまとめてみてください。

一人一人のアイデアをまとめたら、その後でグループを作って、その中でまとめてもらいます。

制限事項

ゴミを宇宙に捨てることは禁止します。宇宙船に積み込んだものは、すべて循環させて利用することを前提にします。

「ドラエモンの道具」のような何でもできてしまうような機械を想定するのは、ルール違反です。現在の技術で、君たちが知っている仕組みで動かせる機械などを想定してください。

宇宙船の仕組み (図やスケッチを用いて)

日常生活の様子 特に、食料とゴミ処理